



松徳新聞

おかげさまで創立50周年
未来を見つめて
徳洲会グループ

50th
Anniversary

2024年 2月号

発行所：松徳新聞編集室
〒580-0032 松原市天美東7丁目13-26

HEAD LINE

- P.2 2023年 当院での救急受入件数は7074件!!
- P.3 TMAT活動報告
- P.5 新任医師の紹介
- P.6 松原中央クリニックだより/今月の作品
- P.7 これなう!/各部署の紹介/今月のレシピ
- P.8 公開医療講座&オンライン医療講座



4年半ぶりに、小・中学生対象 院内見学ツアーを開催



みんなで記念写真

1月6日に4年半ぶりに小・中学生を対象とした院内見学ツアーを開催しました。コロナ前は夏休み恒例の大人気企画だったのですが今回、満を持して冬休みに実施しました。

当日発熱や体調不良で4名の子どもたちがキャンセルになりましたが14名の子供たちに参加いただき、2班に分かれて手術室・薬剤部・看護部へ、ツアー開始。(次ページにつづく)



模擬手術



電気メスの使い方を聞いてます



手術の準備中



みんなで心臓マッサージ



AEDの使用方法を聞いてます



機械で薬を分けてます

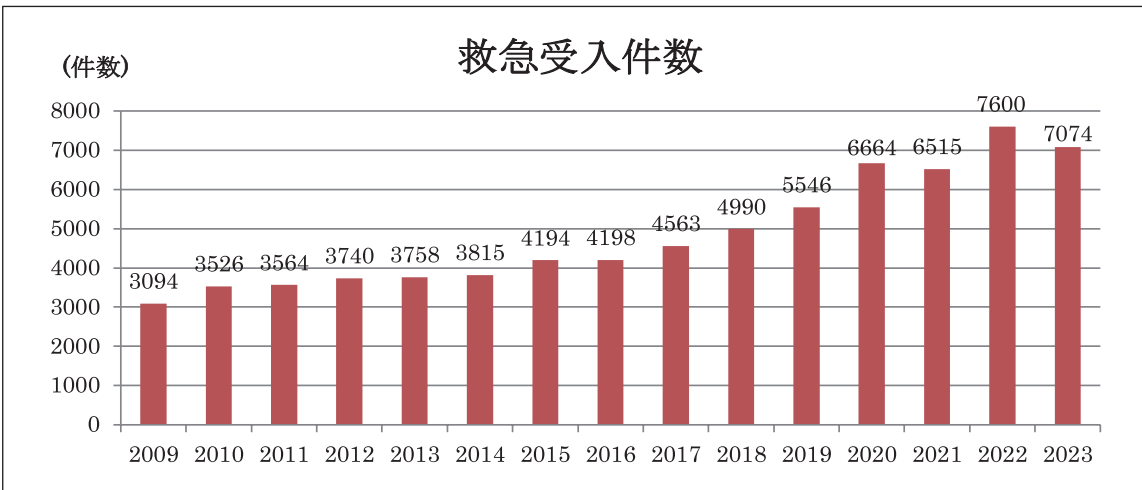


調剤体験

(前ページつづき)
 手術室では、電気メスの使用方を森田副院長がレクチャー!! 実際にソーセージを使用し電気メスを体験していただきました。看護師と一緒に模擬手術の体験をしたりと子供たちは大満足。薬剤部では、スライムを使った調剤体験と白衣を着てのなりきり写真撮影を実施。同伴した保護者の方々は我が子の白衣姿を何枚も写真に収めていました。看護部では、クリティカルケア認定看護師によるAEDの使い方と心臓マッサージを体験。中学生と保護者の方には実際に人形を使用して体験いただきました。

どの部署も、見学だけではなく実際に体験できるツアー内容になっており参加してくれた子供達も、同伴した保護者からも「心臓マッサージは思ったより難しかった」「手術室や薬局に実際に入れて興奮しました」「体験ができて想像ではなく本当の事が見れたり聞けたりできて良かった」など好評でした。

今回のツアー参加をきっかけに、医療に関心・興味も持ってください、将来、松原徳洲会病院で働いてくれるのを心からお待ちしております。



2023年当院での救急受入件数は7074件!!
 松原市における救急件数の約50%を当院で受入れ



2022年に次ぐ7074件で2年連続7000件突破!! 当院は、いつでもどこでもだれでもが安心して医療を受けられる地域社会の創造に貢献できることを目標に掲げ、24時間365日、出来る限り救急車の受入れを断らない医療を実践してまいりました。

また松原市における救急件数の約50%を当院で受入れました。これからも松原徳洲会病院は、地域の皆様のための医療を展開していく所存ですので、どうぞ宜しくお願い致します。

TMAT活動報告

能登半島地震

ICU看護師 山根 明

このたびの令和6年能登半島地震により、被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

TMAT（徳洲会災害医療救助隊）で先遣隊として出陣させて頂いた際の活動や経験などを少しでもお伝えできればと思います。

TMATの研修を経て、災害派遣は看護師としての目標へと変わっていきました。今回、初の先遣隊での出陣が決まり、災害状況の悲惨さと衝撃が一気に自分に起こったような感覚になり、不安でその晩は眠れませんでした。その後ろでは、私のTMATの出陣のために職場の方々が積極的に勤務を代わってくださった温かさがあり、激励の連絡に励まされました。



松徳出陣メンバー
(左から PT家口、NS東、NS山根)

【被災地の状況】

1月2日の夜明け前、八尾徳洲会の当麻医師と当院の作業療法士家口さん（初出陣）とともに、松原徳洲会を出発し救急車で石川へ…の予定でしたが、翌日、当麻医師の都合上帰阪されたため、家口さんと2人で避難所へ向かうこととなります。念の

ために行き道の平坦な高速道路で救急車の運転を練習しながら向かったのが功を呼び、被災地でもしつかり



倒壊家屋

り運転することが出来ました。金沢市ではガソリンスタンドでの給油が困難、食料や水が品切れなど周囲から被災状況を改めて感じさせられたと同時に、使用できる高速道路が制限され始めました。

穴水町に入ると携帯の電波が届かなくなり、TMAT本部や他の部隊とも連絡途絶した状況下で逸れてしまうアクシデントもあり、災害時の恐怖を身を持って感じました。また、悪路が多く他の支援団体が踏み入れられていないような（タイヤがバースト寸前になる）道をまるでRPGのように迂回しながら災害状況の調査や避難所の巡視を行いながら進みました。他の部隊が災害対策本部と連携し、TMATの活動拠点となる支援が必要な能登町にある避難所（ふれあい健康センター）『通称 ふれ健』に決定し活動を始めていきます。

能登町の課題は、なんとといっても悪路やライフラインの途絶でした。幸い、ふれ健周辺では電気が通っ



通称 ふれ健

ていたので暖は取れていました。悪路のため物資の普及もすぐには困難で、上下水道が使えないため水は近くの

湧き水や雪解け水を使用、しかしトイレの汚染問題が著明で衛生面が保てませんでした。飲水も制限されてしまったため、重症脱水による緊急搬送もたくさんしました。医療面では、定期薬が切れてしまい持病が悪化するケースや外傷の患者が多く、活動後半になるとCOVIDやインフルエンザ、ノロウイルスなどの感染症患者が増加しました。物資不足や院内とは違い限られた範囲での感染対策ではクラスターを引き起こしやすく、次々と感染者が増え、隔離の基準をノロウイルスに限定するしかなくなるほどでした。病院では、倦怠感や頭痛などに対して薬ですぐに対応出来るものの避難所では限られた薬剤しかなく、ノロウイルス感染により腹痛や頭痛を強く訴え泣き叫ぶ子に声をかけてあげるしかないような状況で、周りも下痢嘔吐患者ばかりで戦地にいるような感覚に見舞われた記憶があります。

避難者層の中には帰省や旅行中の方々も見受けられました。高齢化地域だったため、避難者は8割方高齢者であり、要介護度の高い方も多かったです。活動していくには、介護を要し活動開始すぐは人員不足で介護支援してあげたいけど活動が進みにくい、活動を進めていくために支援をする人の優先度を考えないといけない場面もあり辛かったのを覚えています。

避難所のほかに、過疎地域や限界集落の巡回も行きました。中心部から離れているため、国や支援団体も足を踏み入れられておらず、残されていた限りある資源や物資を持ち寄り生活されていました。思い出のある地域を離れることが辛く、中心部の避難所には行かない・またはいく手段がなくて行けない方々もおられ、目の前の方々を今すぐに助けてあげたくても助けてあげられず、TMATの出来る支援として国に状況をしっかりと伝えることでしか支援出来なかつた歯痒さや悔しさを感じました。

【活動中の自分の葛藤】

活動し始めは、とにかく自分の出来ることや役割を自分なりに考えて行動していくことに必死でした。場を明るくいられたらと思いい、自分なりのコミュニケーションをとってみたい、積極的に活動していました。

中盤では、他メンバーの方々の優しさもあり少しずつ初対面だったメンバーやリーダーの方も何気なく話していけるようになりました。初めての出陣であり、自分の意見や考えが正しいのか分からない場面も、先輩方に相談し確認しながら災害時での考え方を、教えてもらいました。研修のロールプレイであったような状況が繰り広げられていき、多重課題の解決していく段取りや連携の仕方を先輩方を見ながら学びました。ただ、この時期になると知らずと疲



電動ベッド等なく職員にて支えながら起居行い食事介助中

労を感じ始めていたのか、少しのことでピリピリしてしまう場面もあり、自分の感情を被災地でうまく適応させていく難しさを体感しました。

終盤には、同部署の東看護師も参戦し、普段お世話になり、引つ張ってくださっている先輩と一緒という安心感が凄く、肩の力が一気に降りたのを今でも覚えています。それと同時に、視野も少しずつ広がり自分が得意とすることを上手に使って活動に貢献していくこと、不得意とすることはそれが得意である人にお願ひし各々の得意を持ち寄ることが一番の支援の近道だと実感しました。

あとは、活動が一週間に差しかかると、疲労を感じたスタップやクラスターだらけの避難所での私たちの感染予防にも限界があり体調不良者が見受けられ始めました。活動的になつているため普段以上の休息と活動のバランスを見極めることが困難になり、体調に異変を感じてもそれを周囲に伝えると申し訳なく思ってしまうことなどからこういう流れを作ってしまうのだと感じました。極地で活動する際は、それを踏まえて自己管理の必要性、周囲が気づいてあげられる環境づくりもチームでの団結に必要



救護室にて外傷処置中

だと感じました。

活動している私たちの姿を見て、避難者の方々がプライベートな話をオープンにしてくださったり、支援側なのに励まして頂いたり、避難者の方々の強さと温かさに何度も救われて、活動を終えました。



火災現場(輪島朝市)

【帰ってからの所感、これから】

災害派遣から帰宅途中、ライフラインに問題がない地域に入るに連れて安堵が込み上げてきた感覚は忘れられません。その一方で、被災地ではまだ恐怖やストレスのなか生活されている方々がいると考えたときに引け目を感じます。

戦い続けている方々を思うと、自分は休まっていたいのだろうか?と自分を責めたくなる時もありました。しかし、支援は人を守りたい、助けたい、支えたいという思いだけでは決して出来ず、自分が整っている状態があつてこそ初めて支援が出来る痛感しました。自分の体調や気持ちを整え、活動内容を振り返り、落ち着いたその時に必要とされている支援を改めて行えるように準備を進めようと思うことにしました。

災害派遣で学べたことは、当たり前前の日常を大切に感謝すること、普段の業務の応用編であることです。

家族や友達が心配しながら待つていてくれる有り難み。温かいシャワー、食べたいものが食べられる環境。流れるトイレ。ふかふかの布団。これが当たり前でなくなる恐怖、考えているのと実際に感じた後だと重みがすごく変わりました。



日々のトイレ清掃活動

日頃から同部署の主任には、「普段の業務をきちんと出来ない」と派遣には行かせられないよ」と教えられていました。それを何より痛感しました。院内で行うような他部署や医師などへの報連相が、現地では多機関にまたがり、その一つのミスが活動が出来なくなる状況、もしくはこれまでのTMAの功績を潰しかねないということ。自分のストレス管理や周囲との協調性、物の伝え方。急変の対応や処置も、いつもならこうするのに、あれがないこれがない…ならばこうする！と応用していくことが求められます。普段のことが出来ていないと、この応用が効かせにくくなることを痛感し、自分に足りていないことを突きつけられた活動でした。

学びが多く、ここでは記しきれないほどです。今回の貴重な経験が自分を成長させてくれました。災害派遣を快く送り出して下さった病院内の関係者の方々、部署の皆さんに感謝の思いでいっぱいです。ありがとうございました。そして、被災地の復興・復旧を心より祈るばかりです。



新任医師の紹介



- ①氏名：高倉 一平（たかくら いっぺい）
- ②出身地：河内長野市
- ③趣味：ゴルフ
- ④好きな言葉（座右の銘）：質実剛健
- ⑤配属部署：泌尿器科
- ⑥職場での抱負：職場での抱負：頑張りますので、宜しくお願いいたします。



- ①氏名：森山 良平（もりやま りょうへい）
- ②出身地：大阪市
- ③趣味：将棋
- ④好きな言葉（座右の銘）：努力
- ⑤配属部署：循環器内科
- ⑥職場での抱負：患者様の幸福と喜びにつながる医療を実践し、貢献していきたいです。

どうぞよろしくお願いたします!

【 受付・診療時間 】

		午前	午後
外科 整形外科 脳神経外科	月・水	受付時間 / 8:30~11:30 診察時間 / 9:00~12:00	受付時間 / 16:30~19:30 診察時間 / 17:00~20:00
	火・金	受付時間 / 8:30~11:30 診察時間 / 9:00~12:00	受付時間 / 11:30~16:00 診察時間 / 14:00~16:30
内科	木・土	受付時間 / 8:30~11:30 診察時間 / 9:00~12:00	休 診

【 外来診察担当医表 】

		月	火	水	木	金	土	日・祝
内科	午前診	木野	小川	木野	白水	木野	木野	休診
	午後診	--	木野	--	--	木野	--	
	夜 診	木野	--	木野	--	--	--	

		月	火	水	木	金	土	日・祝
外科・脳外科 整形外科	午前診	木野 (代診) (第1.3.5)	児玉 (脳外科)	坂元 (整形) (第2.4) 木野 (代診) (第5)	木野 (代診)	新海	坂元 (整形) (第1.2.3.5)	休診
	午後診	--	児玉 (脳外科)	--	--	木野 (代診)	--	
	夜 診	坂元 (整形)	--	坂元 (整形)	--	--	--	



松原中央クリニック 院長
木野 博文

ご挨拶申し上げます。当院の前身は松原中央病院で、昭和43年に開院し約55年の間、地域の皆様に愛され、また地域の医療と健

新しく開院した、松原中央クリニックの院長の木野博文でございます。職員を代表して

診察の結果、入院加療が必要な場合には松原徳洲会病院を始めとしてご希望の病院にも紹介して入院の手続きを行わせていただきます。

康の維持に貢献して診療を続けておりましたが、施設の老朽化が進んだため、令和5年12月31日をもって閉院し、60床の病床は松原市天美東にある同グループの松原徳洲会病院に移譲し、令和6年1月1日より入院施設の無い外来診療だけの松原中央クリニックとして診療することになりました。

松原中央クリニックだより




これからも、「生命だけは平等だ」の理念を継承して、地域の皆様のために職員一同努力していく所存ですので、今までもお願い申し上げます。



にじいろ保育園

今月の作品



今月のテーマは

「雪だるま」

ローラー、クレヨン、紙吹雪で、いろいろな雪だるまを作ってみました。





アーティスト(AAA)



献血バス

私が献血に行くようになったのは好きなアーティストがCM曲を担当していて、献血に行くところにかけてました。また、小さい時から採血や注射が得意で献血も大丈夫だろうと強く思ったからです。

一番初めは市役所に来ていた献血バスでの参加でした。せまい中、4名ほどでリクライニングチェアに座り献血したのを今でも思い出します。献血をしてから数年が立ちましたが献血のチラシを街で見かけると、行きたいな〜と思います。ですが血液の成分が完全に回復するまでの期間を考慮されておき、すぐには行けません(泣)。早く次の献血に行きたいです!!

痛みに強い方、少しでも興味のある方はぜひ献血に行ってみてください。



献血ちゃん



松原徳洲苑4F 介護福祉士

山田 恵梨華

皆さんは「献血」に行ったことがあるでしょうか？ 献血の効果には老廃物のデトックス効果もあると言われています。



「献血」なう!

各部署の紹介(薬局)

薬局 森田 めぐみ

今回は病院薬剤師のお仕事を紹介したいと思います。まずは、基本の業務となる調剤業務をご紹介します。調剤業務では医師が処方した内容について投与量などを確認し、疑問点がある場合には医師に問い合わせをしたのち、処方箋を発行して調剤します。調剤されたお薬は、調剤者とは別の薬剤師が確認し、外来処方の場合は薬局窓口にて処方薬の効能や服用時の注意事項などを、説明してお渡ししています。

次に入院された患者様に対しては、服薬指導という形でお薬の説明を行っています。服薬指導業務では、まず他の医療機関でもらっている薬や、普段飲んでいる薬などを確認しています。カルテから患者様の情報を確認した後、ベッドサイドでアレルギー・副作用歴、市販薬・サプリメントの服用状況、飲酒歴、喫煙歴などの確認をし、使用中の注射剤や内服薬の効能や副作用の症状などのご説明をし、治療効果や副作用のチェックを行います。患者様からお聞きした症状や処方内容、検査結果などから処方変更を提案したり、検査結果を基に最適な投与量や投与方法を提案したりもしています。

また院内には褥瘡(床ずれ)対策チーム、感染対策チーム、栄養サポートチーム、緩和ケアチームなどがあり、他職種が連携して最適な治療を提供出来るよう活動しており、薬剤師も参加しています。1月に松原中央病院から2名のスタッフが加わり、4月からは新人薬剤師も入職予定なので、より充実したサービスが提供できるような頑張っていきたいと思っています。



国試間近! 薬剤師を目指す受験生、応援してます!

一般的な薬剤師の知識だけでなく、抗がん剤治療や糖尿病療養法、栄養療養法、漢方薬などのより専門的な知識を勉強している専門薬剤師もおられますので、ぜひお気軽にご相談ください。

**ご意見、ご感想は
松徳新聞編集局まで**

TEL: 072-334-3400
FAX: 072-332-3512
Eメール: info-matsubara@tokushukai.jp

Facebook Instagram

ご登録お願いします!

松徳新聞 2024年2月号

- 編集責任者: 阪口 昇二
- 編集委員: 秋田 直樹
- 渡邊 成喜
- 金田 玲音
- 小林 永治
- 諏訪 翔大
- 武島 誠

ホームページ

今月のレシピ

監修: 栄養科

タラの南蛮

【材料】(4人分)

- ・たらの切り身 300g
- ・たまねぎ 1/2個
- ・にんじん 1/6本
- ・赤とうがらし 適量(輪切り)
- ・片栗粉 適量
- ・揚げ油 適量
- ☆しょうゆ 大さじ2
- ☆穀物酢 100ml
- ☆砂糖 大さじ3
- ☆水 大さじ2

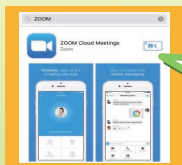
★調理工程★

- ① 千切りにした人参と薄切りにしたたまねぎをボールに入れ、☆を混ぜ合わせる。赤とうがらしを入れ漬ける。
- ② タらはぶつ切りにして片栗粉を軽くまぶし、180℃に熱した油であげる。
- ③ ①に②を入れ、30分ほど漬け込む。
- ④ 器に盛り付けて完成。

公開医療講座 & オンライン医療講座

2024年

2月



※画像は、スマートフォン版です。

オンライン医療講座は
Web会議ツール「Zoom」ソフトを
使用いたします。
みなさまには事前に「Zoom」の
ダウンロード等をお願いいたします。

iPhone・iPad



Android



講演中は、
ホームページから
オンラインで自由
に参加出来ます。



会場とZOOM 同時開催 入場無料

●2月7日(水) 14:30～

会場とZOOM

会場:羽曳野市立生活文化情報センター LICはびきの2F パソコン教室

お口からアンチエイジング

～オーラルフレイルって知ってますか?～

講師/歯科口腔外科部長 竹内 憲民

●2月15日(木) 14:30～

会場とZOOM

会場:サンスクエア堺 2F 研修室1

あなたの血管は大丈夫?

～動脈硬化による病気とその予防～

講師/大動脈ステントグラフト血管内治療科部長 阪口 昇二

●2月8日(木) 14:30～

会場とZOOM

会場:まつばらテラス(輝) 2F 研修室

新しい癌の治療法

講師/外科顧問 古河 洋

●2月16日(金)

会場とZOOM

会場:介護老人保健施設 松原徳洲苑 5F ホール

その「冷え性」、病気かも? 14:30～

～足の血管の病気とフットケア～

講師/心臓血管外科 浅沼 舞

地域包括支援センターについて 15:30～

講師/地域包括支援センター センター長 森泉 奈津子

●2月13日(火) 14:30～

会場とZOOM

会場:まつばらテラス(輝) 2F 研修室

膝の痛みでお困りの方へ

～膝痛に対する根拠のある治療とは～

講師/整形外科部長 岩崎 圭至

●2月19日(月) 14:30～

NEW

会場とZOOM

会場:介護老人保健施設 松原徳洲苑 5F ホール

高齢者のお食事について!!

講師/松原徳洲苑 管理栄養士 島本 力代香・安井 美幸

会場では感染予防のため、マスク着用と手指消毒をお願いいたします。

ZOOMのみ開催

●2月17日(土)【糖尿病教室】

ZOOMのみ

①どんな薬があるの? 解りやすい薬の話 14:00～

講師/薬剤師

②やってみよう! 運動療法 15:00～

講師/理学療法士

●2月24日(土)【糖尿病教室】

ZOOMのみ

①誰でも解る食事療法 14:00～

講師/管理栄養士

②これで納得、糖尿病の検査 15:00～

講師/臨床検査技師

●2月22日(木) 14:30～

ZOOMのみ

MRIっていったい何?

その質問、お答えします!

講師/放射線技師 恒吉 拓巳

●2月29日(木) 14:30～

ZOOMのみ

このままでは危険!! あなたの腎臓は元気ですか?

～腎臓病と透析のお話～

講師/臨床工学技士 西尾 光司

事情により、イベント内容が
変更または中止となる場合
がございます。

〈問い合わせ〉松原徳洲会病院 地域医療連携室

TEL:072-334-3400

松原徳洲会病院 検索